

農業



令和2年5月号
会誌 No. 1664

目次

巻頭言

農業ならではの.....三輪睿太郎 3

論 壇

南小国町のグリーンツーリズム.....納口るり子 4

農業懇話会

古くて新しい肥料について.....小林 新 6

表彰農家訪問

鉢物・花壇用苗生産の先駆的な取組と販売促進.....腰岡 政二 27
-長尾安博氏を兵庫県丹波市に訪ねて-

研究の最前線

作物に寄生する線虫.....植原 健人 34
-土壌中の知られざる寄生者-

農業・農村の現場から

コウノトリの野生復帰を支える米づくり.....上西 良廣 44
-兵庫県豊岡市「コウノトリ育むお米」を事例として-

世界の農業は今

ブラジルのセラード地域におけるダイズ生産……………古家 淳 52

私の経営と志

農業人生で得たもの……………浅津良伊知 59
－生きる大切さ－

農政情報…………… 61

大日本農会だより…………… 62

編集部から…………… 62

ミニ情報

平成30年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量の動向（全国）…………… 33

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農林漁業者・

食品関連事業者への支援策…………… 43

令和2年集落営農実態調査（令和2年2月1日現在）…………… 58

表紙写真説明

子供たちのりんご授粉体験（青森県黒石市）

青森県はりんごの生産量が約45万トンと、全国の生産量の約6割を占めるりんごの一大産地です。近年、台湾をはじめとするアジア諸国への輸出が増え、りんごの価格安定に寄与しています。

青森県内のりんご地帯の小学校では総合学習の一環として、りんごの作業体験を行うところが多くあります。授粉、摘果、葉摘み、収穫と一連の作業を地域の生産者、JAの協力を得て実施しています。

体験ではりんご作りの苦勞を知ってもらいたいと思う反面、後継者不足の時代なので、青空のもとで行う作業はとて楽しいとりんご作りの楽しさ、おもしろさを全面に出すように心がけています。

また、現在、結実確保に必要な授粉の主体はマメコバチが担っていることやマメコバチの生態の話も交えて行い、自然との共生の素晴らしさも伝えています。

（写真及び文：一般財団法人板柳町産業振興公社りんごワーク研究所

りんご指導監 今 智之氏）